

Profiles



ジェラルール・プーレ / ヴァイオリン Gérard Poulet / Violin

フランスが誇る86歳の世界的ヴァイオリニストにして、偉大な教育者。11歳でパリ国立高等音楽院に入学2年で首席卒業。18歳でバガニーニ国際コンクール優勝。フランチェスカッティ、メニューイン、ミルシュテイン、H・シェリング等の巨匠に師事。これまでパリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、読売日本交響楽団等と共演。長年パリ国立高等音楽院で教授を務め、退官後、東京藝術大学の客員・招聘教授を務めた。現在は昭和音楽大学客員教授。日本をこよなく愛し、日本とフランスではほぼ半々の生活。2019年フランス芸術文化勲章の最高位コマンドールを叙勲。2019年日本国内で第1回ジェラルール・プーレ・ヴァイオリン・コンクールを開催し、楽器の貸与を実施した。これまで70枚を超えるCD(LP)を出し、2023年8月には85歳の誕生日前日、メンデルスゾーンの協奏曲を録音。昨年12月にもベートーヴェンの協奏曲を東京藝大フィルハーモニア管弦楽団、澤和樹氏の指揮で録音した。

【WEBサイト】 www.gerard-poulet.com



萩原理恵 / ソプラノ Rie Hagiwara / Soprano

東京藝術大学音楽学部声楽科卒。イタリア、ミラノでアルベルト・ソレジーナ氏に、オーストリア・ザルツブルグのモーツアルテウム大学でシルハウスキー氏、エッガー女史に師事、研鑽を積む。1981年に渡米、シンシナティ州立大学大学院の修士課程に入学、1985年アメリカオペラオーディションにおいてファイナリスト。1989年、マラー・バージョンのベートーヴェン第九のCD制作に参加し、そのCDはグラミー賞を受賞した。以来、オペラ、シンフォニー、室内楽において、古典から現代曲まで幅広いレパートリーのソロ演奏者として活躍すると共に、マサチューセッツ大学、エール大学、愛知県立芸術大学、昭和音楽大学で教鞭をとる。現在は、神奈川県愛川町在住。



ハギワラ・ヤコブチッチ・アネット / チェロ

Annette Hagiwara Jakovcic / Cello

米国ニューイングランド音楽院卒業後、オーストリア・ザルツブルク、モーツアルテウム大学院に入学しクレメンス・ハーゲンに師事する。ウィーンフィルアカデミーを修了し、ウィーン・フィルハーモニーの公演に定期的に参加。また、ピエール・アモヤル、パベル・ヴェルニコフ、ペテル・ナジなどの著名な音楽家とも共演。フリッツ・ライターマイヤー・コンクール第1位、プラウマンおよびフィッシュيوف室内楽で最高賞。また、ザルツブルク祝典歌劇場でユニ・モーツアルテウム管弦楽団のソリストとしてベートーヴェンの三重協奏曲を演奏した。昨年から今年にかけ、ヴァイオリニスト、五嶋みどり主宰の開発途上地域と日本国内を巡るツアーにカルテットのメンバーとして参加、ネパールと国内の学校などで演奏した。最も注目される若手チェリストのひとり。



川島余里 / ピアノ Yori Kawashima / Piano

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。1989年渡仏し、パリ国立地方音楽院にてピアノ科とピアノ伴奏科のブルミエ・プリを取得。O.ギャルドン、G.ジョワ（デュティーユ夫人）に師事。トップクラスのソリストから伴奏を依頼され、とりわけヴァイオリンの巨匠ジェラルール・プーレに最も信頼されるピアニストとなる。パリのロン・ティボー・ヴァイオリン・コンクールの公式伴奏者。パリ国立高等音楽院など複数の音楽院で伴奏者として勤務し、2005年帰国。東京藝術大学及び附属高校で伴奏助手を務め、現在は東京藝術大学と昭和音楽大学でソルフェージュと室内楽の講師。日本フォーレ協会会員。協会創立30周年記念の8人の作曲家によるピアノ作品集「フォーレ讃」の一曲を作曲（2020年5月に音楽之友社から出版）。